

国会議員挨拶

100年の計を見据えたい



衆議院議員
あべ 俊子

栃木県看護連盟の皆様、いつも温かいお力添えを賜り心より感謝申し上げます。

第186回通常国会も6月22日に無事に閉会いたしました。私が所属する議員運営委員会や自民党国会対策委員会などの活動も活発に、法案の説明や整理、与野党間の話し合いに取り組むなど国会運営に携わりつつ、週末は地元へ帰りできる限り皆さんとの触れ合いを大切にしながら国会活動をしてまいりました。

日々の分刻みのスケジュールを頑張り通すことができましたのも皆様の応援のおかげでございます。

今国会では、必要な法案を通し10年、20年、それに続く100年後の日本のことを考え次世代に送り継ぐ政策をつくりあげていきたいと思っております。

同時に、看護職の皆様お一人お一人が働きやすく、やりがいをもって看護できることを心から願い、その実現に向けて引き続き精一杯取り組んでまいります。

今後とも栃木県看護連盟の皆様の温かく力強いお力添えを心よりお願ひ申し上げます。

働く環境づくりは生涯の使命



参議院議員
高階 恵美子

会員のみなさまにおかれましては平素より看護政策の推進にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

現政権も誕生から21ヶ月となり、いよいよ公約の達成状況が問われる段階を迎えています。先の国会では医療介護推進法が成立し、三党合意に基づく社会保障制度改革プロセスも着実に歩を進めております。そしてこれからは私たち看護職能の適性評価と身分保障、近未来に向けた看護職の新たな労働体系の構築についても、冷静かつ科学的な議論を展開していかなければなりません。

また、昨年秋の国連演説で総理が「女性が輝ける国づくりを目指します」と世界に発信したメッセージは、私たち看護職にも大きな勇気を与えています。

これからも、高階恵美子は、社会保障を実現する最大規模のプロ集団として、生涯にわたり、看護職一人一人が堂々と働き続けることができる環境づくりを進めて参ります。

新しい法律に向けて



参議院議員
石田 昌宏

栃木県看護連盟の皆様、平素はお力添えを賜りありがとうございます。

残暑厳しい日が続いておりますが、夏の疲れが出やすいこの時期、どうぞご自愛ください。

先の国会で看護関連の法律を多数含む「医療介護総合確保推進法」が成立しました。同法には「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律（プログラム法）」の中身を実行に移すための内容が盛り込まれており、今年10月からの施行に向けて具体化が進んでいきます。

法律の運用が具体化するここからが肝心です。「仏作って魂入れず」ということにならないよう、しっかりと意見を述べていきたいと思います。

皆様が「今日もいい看護ができた！」と実感し、輝きをもって看護を行うことができるよう、国政の場で頑張ってまいりますので、引き続きのご支援をお願い申し上げます。